

2025年4月13日 主日礼拝 <受難週・聖餐式>

司 会 ①村上兄 ②遠藤兄 ③森山兄(中村姉)
祈 禱
奏 楽

賛 美 聖歌403番「さかえのかむりを」
(主イエスを愛することは)(み手の中で)
主の祈り

聖 書 ①② コリント人への第一の手紙1章18～25節 (P257)
③ マタイによる福音書26章36～42節 (P45)

音 楽 パー・チェチョル氏 2023. 8. 27(V)

メッセージ ①② 「イエスは涙を流された」 小林詩音副牧師
③ 「みこころのままになさって下さい」 大川従道主任牧師

賛 美 「あなたは愛されるため生れた」 献金
頌 栄 「主の栄光宮に」 アーメン
祝 禱

『そして少し進んで行き、うつぶしになり、祈って言われた、
『わが父よ、もしできることでしたらどうか、この杯をわたしから
過ぎ去らせてください。しかし、わたしの思いのままにはなく、
みこころのままになさって下さい。』(マタイ二十六の三十九)

【大和ニュース】

☆今週から受難週。心して過ごしましょう。18日(金)受苦日。断食祈禱(9時～15時)

* 本日は特別なお客様です。神戸先生ご夫妻と田中牧師。

・ 青年会・学生会・ヤンチャ(中高生)のためお祈りください。第4礼拝(18時)説教は熊谷師。

* 今週の祈禱会は、ハイモネン先生ご夫妻(フィンランド)のご聖務です。水曜夜と木曜朝。

ポーマン先生ご夫妻も来られます。(木曜午後、ヌイヌイ。婦人リーダー会あり)

・ 土曜日は花満開！会堂掃除！（12時）、聖歌隊＆オーケストラ(13時半)。

☆6月14日と15日に、フロリダより米国最大級の教会の牧師ギエルモ・マルドナード師と
100人程の奉仕者の方々が来られます。『いやしと聖霊充滿の聖会』

* 主日礼拝人数 ①72人(224) ②216人(152) ③254人(277) ④14人=1209人

定例祈禱会 水曜58人(156) 木曜112人(82)=408人 ※()内は YouTube のライブ人数

公告 法人登記簿謄本記載変更について
※詳細はロビー掲示板の公告をご覧ください。

石の枕

元ノートルダム清心女子大学の学長の渡辺和子先生は、マザーテレサのように愛され尊敬された人。その御本の中から以下の宝の言葉を紹介する。

「第一志望ばかりが自分にとって最良とは限らない。」

挫折したからこそ出会えるものがある。挫折は自分をきたえ、きっと成長させてくれる。一つひとつの挫折をふり返り、私は学習院でなくて成蹊でよかった、お茶の水でなくて聖心でよかった、サンモールでなくてノートルダムに入れていただいてありがたかった、と負け惜しみでなく、しみじみ思います。

もちろん、第一志望が叶えられたら、おめでたいことだし、良いことです。しかしながら、挫折を経験することは人生にとって非常にたいせつなことであって、その時にはそれなりに、しっかり苦しんだらいい。ただ、それに打ちのめされることなく、それだけが自分を生かす唯一の道ではないのかも知れないと考えるゆとりがほしいものです。

「神の思いは、人の思いにあらず」という聖言が、本当にそうだと思えるようになるためには、いくつかの挫折を経験し、そこから、自分の「思い」の浅はかさに気づくことが、どうしても必要なようです。

謙虚さ(Humility)は、はずかしめ(Humiliation)を受けずには得られないと習ったことがあります。が、そういうことなのかもしれません。

挫折のない人生はない。挫折は自分を考え直すチャンスなのだ。人間が見通せることには限りがある。長い目で見ると、挫折したおかげで、と思えることも少なくない。

(大川牧師はこの経験の故に今日の祝福がある。)

今週は受難週。イエス様の選ばれた12人の弟子たちすべてが再起不能と思える大失敗をした。しかし、その後で死から甦られたイエス様にお会いし、またお約束の聖霊のバプテスマを受けて、完全復活以上の恵みにあずかり文字通り歴史をひっくり返す祝福にあずかった。彼らは挫折によって人間の力では不可能なドン底を味わい、主の愛とあわれみによって完全復活を受けた。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！
Aコース:ルカ14章～17章 Bコース:サムエル上13章～29章